

# ● 自宅における家

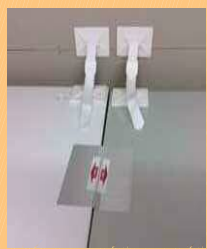
## ● 照明器具

照明器具については、大きく揺らされることにより天井に衝突して落下する恐れがありますので、ワイヤーなどで固定し、揺れを防止しましょう。また、天井にヒートンを打ち、ワイヤーなどで連結する方法もあります。



## ● タンス

下地探知用センサーを用いて、壁の下地材にL型金具を取り付けるようにしてください。また、粘着シートを用いたストラップ式で固定する際は、貼り付ける面(壁側、家具側両方とも)の汚れを、取り除いてください。



## ● 本棚

タンスと同様に、壁の下地材にL型金具を取り付ける事が良いですが、ネジ止めできない場合、天井との間にポールを突っ張って固定する方法があります。その際、天井との空気を減らし、両側側板部の壁側奥に取り付けてください。



### <食料、飲料水の備蓄>

地震等の自然災害により、暮らしを支える電気・ガス・水道などのライフラインや交通が途絶えることがあります。その結果、飲料水や食料が手に入らなくなることもありますので、**可能な限り1週間分程度、最低でも3日分程度の備蓄**をするようにしてください。

<写真>  
照明器具、電子レンジ：特定非営利活動法人阿波グローバルネット提供  
タンス、本棚、テレビ、冷蔵庫：一般社団法人わがやネット提供  
ガラス：あいち防災リーダー会提供

## ● 家具等の転倒・落下・移動防止器具の種類

参考：東京消防庁ホームページ「家具類の転倒」  
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-bousai/>

一般的に家具類や家電製品を対象とした転倒・落下・移動防止器具と呼ばれるものには、次のものがあります。

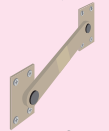
### ● L型金具

家具と壁を木ネジ、ボルトによって固定するタイプ。



### ● プレート式器具

家具と壁にそれぞれネジ止めした金具を、金属プレートなどで結んだタイプ。



### ● ベルト式、チェーン式、ワイヤー式

家具等と壁にそれぞれネジ止めした金具をベルト、金属チェーン、ワイヤーなどで結んだタイプ。



### ● ポール式(つっぱり棒式)

ネジ止めすることなく、家具と天井の間に設置する棒状のタイプ。



### ● ストッパー式

家具の前下部にくさび状に挟み込み、家具を壁側に傾斜させるタイプ。



### ● マット式(粘着マット式)

粘着性のゲル状のもので、家具の底面と床面を接着させるタイプの器具。



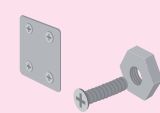
### ● ストラップ式

樹脂製ストラップの両端に両面テープを貼付したバックルを連結したもののや、ストラップの端をネジ留めすることで、主にテレビやOA機器と台を連結する器具。



### ● 連結金具とボルトナット

家具と壁や、家具同士を連結するための金具とボルトナット。



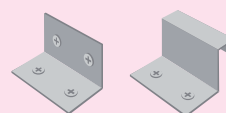
### ● 2段分離家具用連結器具

家具の上下を連結し転倒、移動を防ぐためのものでネジ止めするための平金具や「かんぬき」状の金具などがあります。



### ● 床固定金具

家具を床に固定するための金具。



地震動に	
転倒防止器具は、地震によっては期待される効果過信することなく、家具だけ効果の高い対策を	
使用条件	小 ←
単独使用	ストッパー式
	マット式
組み合わせ使用	ポール
	家具と天井に十分な